

年次報告書 2020

子どもたちの明日



年次報告書によせて

今年2月に幼い難民を考える会は設立40周年を迎えることができました。様々な難しさがあるなか、会の活動を止めることなく継続することができております。ひとえに日頃から活動へのご理解とお力添えをいただいております皆さまのご支援の賜物と改めて深く感謝申し上げます。

2019年度は、幼児教育を管轄している州や郡の教育局、地区評議会などとの協働で、ネットワークづくりに更に力をいれ、地域の公立、地域幼稚園との具体的な保育能力強化の研修にも取り組んできました。地域が実践する幼児教育の拡充に期待が持たれています。

新型コロナウイルスの世界的な流行の中、カンボジアの活動地でも感染への不安、働く機会の喪失、物価の高騰など様々な影響が出てきています。そうした中、幼稚園の休園による家庭での少人数の保育活動、保護者への保育活動指導も始まっています。

これからもカンボジアの厳しい状況に置かれている子どもたちが、一人でも多くそれぞれの地域で安心して就学前教育が受けられるよう、地域で継続して自分たちの子どもの生活環境を改善していけるよう地域の人たちと一緒にカンボジア事務所主体で事業を進めていく所存です。

引き続き皆様からのご協力を賜りたくなにとぞよろしくお願い申し上げます。



代表理事 関口 晴美

目次

年次報告書に寄せて・目次	2
2019年度事業報告と2020年度事業計画	
Ⅰ カンボジア事業	3
1. カンボジア保育事業	
2. カンボジア織物事業	
Ⅱ 日本国内事業	6
2019年度 数字とグラフで見る 幼い難民を考える会	
・2019年度決算・監査報告書・2020年度予算	7
・活動収支年度別推移表	9
幼い子どもと女性の自立のために当会を支えている人々と団体	
・2019年度 補助金受け入れ先、寄付者、みんなで布チョッキン実施団体	10
わたしたちの組織	
・会員数、寄付者数、役員、職員、活動履歴	11

2019年度事業報告と2020年度事業計画

Ⅰ カンボジア事業



1. カンボジア保育事業

1) 村の幼稚園

① 既存「村の幼稚園」9園に対して、月1回のモニタリングを実施し、保育者の実践の観察から子どもへの対応、カリキュラムに添った教材の準備と実践方法などを指導した。資金面の支援（保育者給与、補助給食、行事費用等）と地域住民による幼稚園への協力促進（保護者に幼児教育の大切さを伝え、幼稚園への協力金の納入を促す）に努めた。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休園が決定し、休園期間中は保育者が家庭に出向き、少人数の保護者と子どもを対象に具体的な保育活動の指導を行う計画である。

州・郡の幼稚園担当者をコアトレーナーを迎えた研修を実施し、地域幼稚園のスタンダードへの理解を深め、公立小学校付属地域幼稚園認定にむけた準備を行った。2020年度も継続して行う計画である。

② 新規に「村の幼稚園」をコンポンチュナン州内に3ヶ所開設した。開園に先立ち、保育者は10日間の事前研修を受け、9日間の実習を行った。2020年度は新たに2ヶ所の「村の幼稚園」を開設予定である。





③ 2019年11月には6園（既に自主運営中の3園と支援中の3園）が教育省の地域幼稚園スタンダードに沿って運営されていると認定され、支援中の3園（4クラス）は前倒しで12月に地域に移管された。2020年度は7園（既に自主運営中の3園と支援中の4園）を地域幼稚園のスタンダードに申請中である。

④ 11月に高校生のスタディツアーを受け入れ、紙芝居などで子どもたちとの交流を楽しんだ。2月には支援をいただいている財団に「村の幼稚園」2園を視察いただいた。

2) 公立地域幼稚園との保育者研修、地域のネットワークづくり

「村の幼稚園」の保育者と地域幼稚園の保育者の意見交換、訪問観察を2回実施した。お互いの実践方法、取り入れたい点など学びあいの場となり2020年度も継続して行う計画である。

3) 保育教材・布ボール・人形の提供

2019年度にコンボンチュナン州内の村の幼稚園がある4郡内の公立幼稚園127ヶ所（保育者127名、子ども3,501名）へ絵本、車パズル、子音パズル、布ボール・人形を配布。説明会で、各教材の使い方を説明し、ボールではゲームなどを体感してもらった。2020年度もコンボンチュナン州内残り他の4郡の公立幼稚園96ヶ所（保育者96名、子ども3,287名）へ絵本、車パズル、子音パズル、布ボール・人形を配布する予定である。

今回提供した絵本「およぐ」「まめ」は東京外国語大学カンボジア語専攻の学生の方々のご協力でクメール語出版できた。2020年度も「みんなおなじでもみんなちがう」「バナナのはなし」をクメール語出版し公立幼稚園などに届ける計画である。

4) 都市スラムの保育所支援事業

ケマラから独立し自主運営中の2保育所にお米（1ヶ所月70Kg）と豆乳（月2回）を支援した。

2020年度は保育所が休園となり、子どもたちへの支援が行えない期間があり、その間、無給となる保育者への米を提供し支援を行う。



5) 奨学金

コンボンチュナン州在住で公立幼稚園教員養成所に進学し保育職を志望する男女2名を面接し、奨学金を支給。1月より就学中である。2020年度は新型コロナウイルス感染防止のため、授業がオンラインで行われている。

2. カンボジア織物事業

1) 研修

2018年度までに実施してきた泥藍作り、藍染め、スカーフ織り、絞り、新しいデザインなどの研修の成果をもとに2019年度は製作状況、販売管理のしかたなどをフォローし必要に応じてアドバイスをした。そしてアンコールバーン・インディゴ・コミュニティメンバーの製作スカーフをピダングメールショップで販売協力をし、泥藍を日本へ販売、輸出協力をした。2019年度で藍染技術の復興と地域での継続運営事業の支援は修了した。

タケオ州での織手の技術向上と、定期的に収入を得る機会となるよう外部から受注した帯、着物、緋、ピダン、スカーフなどの仕事を実務研修として発注した。

2) 販売

アンコールバーン村では、日本の藍染め工房3ヶ所から定期的な泥藍の注文が入り、1,000キロ余り輸出し、現地のクロコダイルファームから泥藍の注文で30キロ販売した。タケオの織物センターでは、注文ベースでコットンスカーフ、シルクスカーフ、オーガニックコットスカーフ、生地などを製作し、プノンベン結婚衣装仕立ての会社からの注文で、花柄模様絵緋ピダン2枚8m、絹緋地1枚4mを製作した。2020年度は170mの絹緋地の注文販売を見込んでいる。

▶ II 国内事業

1. 資金確保のための活動

1) 寄付・募金のお祝い、補助金・助成金申請の実施

ニュースレター発送時、会費納入のお祝い、募金のチラシを同封し、支援をお願いした。助成金については2019年度保育事業に対し6件で465万円、テレワークの導入に対し20万円が支給され、2020年度の事業助成金申請に関しては、1件約100万円が支給決定された。

2. 広報活動

1) インターネットを活用した広報活動

プノンペン事務所が原則毎週更新しているFacebookを国内で引用する形でタイムリーな情報発信に務めた。2019年度に実施を予定していたホームページのスマートフォン対応を2020年度に繰り越して計画している。

2) 支援企業・団体への活動報告

第18回総会終了後に、プノンペン事務所長チャン・スレイが「報告会・カンボジアの幼児教育の現状と村の幼稚園」を実施し、当会が実施している保育者研修を含む「村の幼稚園」3年間の運営支援が地域で継続して管理運営しているようにする幼児教育のモデルにしていきたいと報告した。また、8団体で事業報告を行った。

3) 「みんなで布チョッキン」

製作された人形用布は852体分、ボール用布は4,042個分、寄付額の合計は約467万円であった。



4) カレンダーの製作と販売

フォトジャーナリスト・高橋智史氏と協力し、子どもをテーマとした40周年記念カレンダーを製作した。680部を販売し、総売上額は約58万円、収益は約25万円であった。

3. 織物販売

国内での担当職員は置かず、委託販売、教会での販売会などで在庫クリアランスに努めた。2020年度はカンボジアでの販売を終了したことから、国内で在庫クリアランスに努める。

4. ボランティア・インターンとの協力促進

年間、延べ140名の方々が、総計400時間のボランティア活動にご参加いただいた。

第2・第4水曜日のボランティアデーには「みんなで布チョッキン」のサポート（活動説明や布の検品）、発送作業、織物製品の販売準備等、ニュースレターのレイアウトやデータ入力作業等も随時対応頂いた。ドットジェイビーソーシャルインターンシッププログラムで学生2名のインターンに、東京都のNPO認定更新申請や台東区での活動紹介イベント等に協力をいただいた。

5. 管理

東京事務所は、事務局長、パートタイム職員（経理総務・広報・IT・布ちょっきん）4名体制で運営した。2月よりテレワーク勤務を導入。定例理事会を以下の日程で開催し、会の運営や事業の進捗状況確認、協議した：4月19日（第92回）、7月29日（第93回）、11月5日（第94回）、1月31日（第95回）

2019年度 数字とグラフで見る 幼い難民を考える会

▶ 活動計算書（要約）

（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

（単位：千円）

科目	2018年度決算	2019年度決算	増減	2020年度予算
I 経常収支				
1 : 会費収入	2,039	1,383	△ 656	1,200
2 : 寄付収入	14,105	19,107	5,002	16,180
3 : 事業収入	6,436	4,505	△ 1,931	821
4 : 補助金収入	10,014	3,770	△ 6,244	5,593
5 : その他収入	552	313	△ 239	0
経常収益計	33,146	29,078	△ 4,068	23,794
II 経常費用				
1 : 事業費				
:(1) 人件費	9,378	6,721	△ 2,657	6,897
:(2) その他経費	10,515	10,705	190	8,067
事業費計	19,893	17,426	△ 2,467	14,964
2 : 管理費				
:(1) 人件費	6,038	7,962	1,924	7,448
:(2) その他経費	5,014	5,145	131	3,371
管理費計	11,052	13,107	2,055	10,819
経常費用計	30,945	30,533	△ 412	25,783
当期経常増減額	2,201	1,454	△ 747	△ 1,989
III 経常外収益				
1 : その他収益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
IV 経常外費用				
1 : その他費用	70	70	0	0
経常外費用計	70	70	0	0
当期正味財産増減額	2,131	1,454	△ 677	△ 1,989

▶ 貸借対照表（要約）

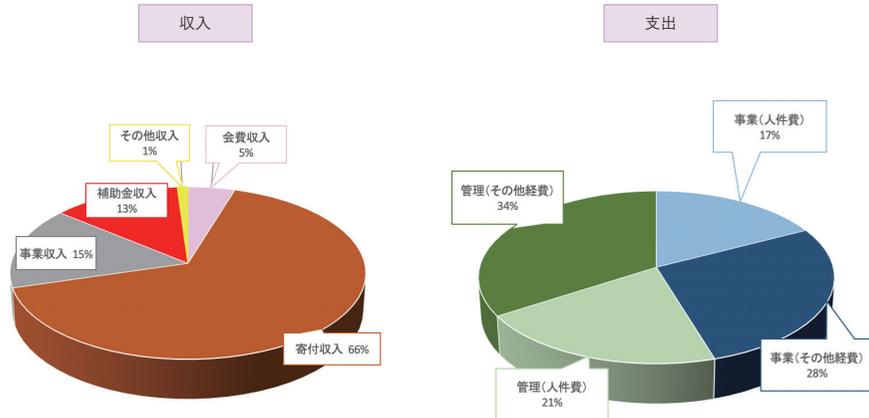
2020年3月31日現在 (単位：千円)

科目	金額
I 資産の部	
: 流動資産	36,918
: 固定資産	2,143
資産合計	39,061
II 負債の部	
: 流動負債	2,732
: 固定負債	4,153
負債合計	6,885
III 正味財産の部	
: 前期繰越正味財産	33,701
: 当期正味財産増減額	1,524
正味財産合計	32,176
負債及び正味財産合計	39,061

1. 会費未納者が増えたことにより会費収入が減少している。
2. 寄付金収入は前年度程度を維持。企業による大口寄付が一件あった。
3. 東京、プノンペンの両事務所での織物販売は黒字を維持している。
4. 前年度比でみると、収入は4,068千円減、経費は412千円減、収支は前年度比747千円のプラスとなった。

監査報告書	
2020年4月26日	
特定非営利活動法人幼い難民を考える会 代表理事 中嶋 雅夫 様	
監事	草野 榮雅
監事	鈴木 雅博
<p>私たちは、特定非営利活動法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人幼い難民を考える会の2019年度（令和2年度：2019年4月1日～2020年3月31日）の業務監査及び会計監査を実施した。</p> <p>業務監査（理事の業務執行の状況に関する監査）に当たっては、理事会の会議に出席し、必要と認める場合には質問をおこない、意見を表明した。会計監査（財産の状況に関する監査）に当たっては、財産の実在性を中心に、帳簿、証拠書類等の閲覧、照会、査閲を行った。</p> <p>これらの監査の結果、当法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は、NPO法人会計基準及び一般に公正妥当と認められる会計の方法によって適正に処理されているものと認められた。</p> <p>ここに、私たちは、上記期間に係る事業報告書が、同法人の業務執行の状況を示し、計算書類が2020年（令和2年）3月31日における財産の状況を適正に表示しているものと認める。</p>	
以上	

▶ 2019年度 収入・費用の内訳



▶ 活動収支年度別推移表

(単位:千円)

科目	2015年度決算	2016年度決算	2017年度決算	2018年度決算	2019年度決算
I 経常収支					
1 会費収入	1,906	2,219	2,149	2,039	1,383
2 寄付収入	20,965	20,757	20,505	14,105	19,107
3 事業収入	11,733	10,319	6,906	6,436	4,505
4 補助金収入	3,899	11,654	8,337	10,014	3,770
5 その他収入	1,025	471	146	552	313
経常収益計	39,529	45,420	38,043	33,146	29,078
II 経常費用					
1 事業費					
:(1) 人件費	18,845	11,095	8,468	9,378	6,720
:(2) その他経費	16,361	14,995	14,995	10,514	10,704
事業費計	35,207	25,487	23,463	19,893	17,425
2 管理費					
:(1) 人件費	6,988	11,087	9,193	6,037	7,962
:(2) その他経費	4,673	6,399	4,849	5,014	5,144
管理費計	11,661	17,487	14,042	11,052	13,107
経常費用計	46,868	42,974	37,505	30,945	30,533
当期経常増減額	△ 7,275	2,446	537	2,201	△ 1,454
III 経常外収益					
当期正味財産増減額	△ 64	△ 70	△ 70	△ 70	△ 70
前期繰越正味財産額	△ 7,339	2,376	467	2,131	△ 1,454
前期繰越正味財産額	36,065	28,726	31,103	31,570	33,701
次期繰越正味財産額	28,726	31,103	31,570	33,701	32,176

▶ 2019年度事業部門別 活動計算書

(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) (単位:千円)

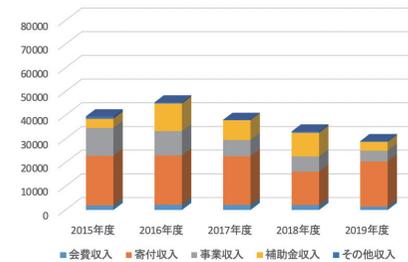
科目	合計	カンボジア事業		国内事業		管理
		保育	織物販売	広報	織物販売	
I 経常収益						
会費収入	1,383	0	0	0	0	1,383
寄付収入	19,107	9,720	0	0	0	9,386
事業収入	4,505	94	3,422	769	218	0
補助金収入	3,770	3,770	0	0	0	0
その他収入	313	0	0	0	0	313
経常収益計	29,078	13,584	3,422	769	218	11,082
II 経常費用						
人件費計	14,683	2,798	1,684	2,005	232	7,962
その他の経費計	15,849	6,935	3,303	125	340	5,144
経常費用計	30,945	10,640	4,283	2,131	572	13,107
当期正味財産増減額	△ 1,454	3,850	△ 1,565	△ 1,361	△ 354	△ 2,024
前期繰越正味財産額	33,701	0	0	0	0	△ 2,024
次期繰越正味財産額	32,176	3,850	△ 1,565	△ 1,361	△ 354	31,606

▶ 2020年度事業部門別 活動予算書

(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) (単位:千円)

科目	合計	カンボジア事業		国内事業		管理
		保育	織物販売	広報	織物販売	
I 経常収益						
会費収入	1,200	0	0	1,100	0	10
寄付収入	16,180	8,030	0	50	0	810
事業収入	821	151	470	0	20	0
補助金収入	5,593	5,593	0	0	0	0
その他収入	0	0	0	0	0	0
経常収益計	23,794	13,774	470	1,150	20	820
II 経常費用						
人件費計	14,345	6,204	201	492	0	7,448
その他の経費計	11,438	7,449	474	131	13	3,371
経常費用計	25,783	13,653	675	623	13	10,819
当期経常増減額	△ 1,989	121	△ 205	527	187	△ 2,619
当期正味財産増減額	△ 1,989	121	△ 205	527	187	△ 2,619
前期繰越正味財産額	34,246	0	0	0	0	34,246
次期繰越正味財産額	32,257	121	△ 205	527	187	31,627

経常収入の内訳推移



事業費の内訳推移



管理費の内訳推移



経常収入の内訳推移

会費未納者が増えたことにより会費収入が減少している。補助金の減少は、連続して申請できる補助金のサイクルも反映している。

事業費の内訳推移

織物事業については計画的に削減してきた結果、5年前と比べると、人件費、経費共に半減している。

管理費の内訳推移

人件費、経費共に横ばいで推移している。しかし、収入の減少により、最終的な収支は145万円の赤字となった。

幼い子どもと女性の自立のために当会を支えている人々と団体

▶ 2019年度 補助金・助成金を通じてご支援いただいている企業・団体

・ 一般財団法人ゆうちょ財団	-----	428,616 円
・ アジア生協協力基金	-----	821,000 円
・ 日本労働組合総連合会	-----	1,500,000 円
・ 特定非営利活動法人 WE21 ジャパン厚木	-----	1,000,000 円
・ 日蓮宗宗務院あんのん基金	-----	300,000 円

(2019/4/1～2020/3/31の入金順で記載しています。)

▶ 2019年度 寄付者（寄付金 10万円以上の団体、あいうえお順）

・ 幼い難民を考える会チャリティ・バザーグループ	・ 全国友の会
・ 株式会社一五不動産情報サービス	・ 東京海上日動あんしん生命保険株式会社
・ CANTATE DOMINO	・ 特定非営利活動法人 WE21 ジャパンたま
・ キューピー株式会社	・ 株式会社 nexus
・ 枝光学園幼稚園	・ 三菱商事株式会社

(2019/4/1～2020/3/31 入金分を記載しています。)

▶ 2019年度 「布チョッキン募金」寄付者（団体のみ）

・ アクセンチュア株式会社	・ 特定非営利活動法人 WE21 ジャパンごま
・ 伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	・ 特定非営利活動法人 WE21 ジャパン大和
・ WE21 ジャパンあやせ	・ 丸紅株式会社・関連会社
・ MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ	・ 三菱商事株式会社
・ 株式会社ジェシービー	・ モルガンスタンレーMUF G証券株式会社
・ 株式会社東京海上日動キャリアサービス 東北支社	・ 自治労熊本県本部書記評議会
・ 教覚寺女性の会	・ 日本メトロニック株式会社
・ コヴィディエンジャパン株式会社	・ 日本リミニストリート株式会社
・ ゴールドマン・サックス証券株式会社	
・ サントリーホールディングス株式会社	実施協力団体
・ サントリービレッジサービス株式会社	・ 公益財団法人フィナンソロピー協会
・ 特定非営利活動法人 WE21 ジャパン伊勢原	・ ハンモックツリー

(2019/4/1～2020/3/31入金分を記載しています。)

わたしたちの組織

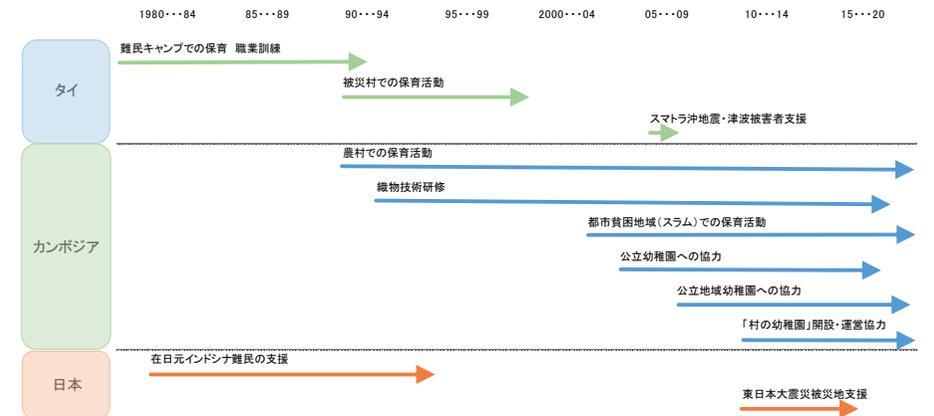
▶ 会員数・寄付者数・役員・職員

会員数	2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末
個人	339	340	328	284	241	215	135
団体	9	8	9	9	7	8	7
学生	3	3	3	4	4	3	1
計	351	351	340	297	252	226	143

寄付者数	2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末
計	537	479	452	523	438	441	442
個人	428	370	357	445	348	379	370
団体	109	109	95	78	90	62	72

役員	職員
2020年3月末現在	2020年3月31日現在
代表理事：牛場 輝夫	東京事務局：5名（事務局長 関口 晴美）
副代表理事：山極 小枝子	プノンペン事務所：7名（所長 チャン・スレイ）
理事：廣戸 直江	
理事：雨森 政恵	2020年4月1日現在
理事：関口 晴美	東京事務局：5名（事務局長 関口 晴美）
監事：鈴木 雅博	プノンペン事務所：7名（所長 チャン・スレイ）
監事：草野 榮雅	

▶ 活動履歴



幼い難民を考える会の理念

幼い難民を考える会、その原点「カオイダン難民キャンプ」から40年。
掲げる「理念」は、私達の活動の根幹として変わることなく受け継がれている。

Children, Our Future

今日の子どもの幸せが、明日の平和な世界へつながります。

1980年、内戦により難民となったカンボジアの子どもたちがタイ国境の難民キャンプの恵まれない環境のなかで少しでも人間らしい環境と必要な配慮のもとで暮らせるようにとの願いから、幼い難民を考える会（CYR）の活動は始まりました。

難民キャンプ閉鎖後は、復興をめざすカンボジアの農村で子どもたちが安心して暮らせる環境づくりと女性の自立を支援する活動に取り組んでいます。

会の名前を「難民の子ども」ではなく「幼い難民」としたのは、子どもという独立した人格を尊重する立場から、子どもたちの成長が守られて初めて、祖国を逃れてきた人たちの、あるいは、その国の自立の問題に結びつくと考えたからです。

また、「考える会」としたのは、助けるという意識がしばしば相手の自立を侵したり、相手を管理する体制に陥りがちであることを認識し、難民問題をいろいろな側面から考えていきたいという会の基本姿勢に根ざしています。

私たちはこれからも、さまざまな理由により厳しい境遇に置かれている子どもたちの健全な成長を支援し、その保護者たちが人間らしい生活環境のもと自立できることをめざしてひとつひとつの小さな積み重ねを大切にしていきます。そのことが、難民を生み出さない、明日の大きな平和を創る力となることを、信じています。



■ プノンペン事務所（2020年10月下旬に移転）

Borey Piphub Thmey Chhouk Va III
#55, St. 05, Prey Sala Village, Sangkat Kakab,
Khan Posen Chey P.O Box 12,
Phnom Penh, 12406, Cambodia
Email: info@cyk.org.kh
URL: www.caringforyoungkhmer

■ 東京事務局（2020年8月同ビル内で移転）

〒110-0016
東京都台東区台東1-12-11 青木ビル3B
TEL: 03-6803-2015
Email: info@cyr.or.jp
URL: http://www.cyr.or.jp

会費のお振込み、活動へのご支援は、こちらまでお願いいたします。
奨学生への支援、月いち募金参加者を募集しています。

郵便振替 00110 - 8 - 36227
三菱UFJ銀行 六本木支店（普通）1351747
特定非営利活動法人 幼い難民を考える会

*CYRは、認定NPO法人です。ご寄付は、寄付金控除の対象となります。

2019年度年次報告書 2020

発行日：2020年11月 発行者：関口晴美